

はるひこ 大野治彦

令和2年4月発行

vol.17

区政報告

自由民主党 板橋区議会議員 大野治彦
〒173-0037 東京都板橋区小茂根4-4-10

TEL/FAX: 5995-9073

区政に関するご要望・ご相談は

お気軽にご連絡ください。

大野治彦ホームページ

<http://ohno-haruhiko.tokyo/>



昨年4月までの2年間、板橋区議会議長を務めさせていただきました。坂本健板橋区長をはじめ板橋区行政の皆様、区議会、区民の皆様との信頼関係のもと、得難い貴重な経験をさせていただきました事に心より感謝と御礼を申し上げます。予算審査特別委員会にて、令和2年度予算に対する総括質問に立たせていただきました。板橋区の財政・政策をはじめ区政に関する課題、私がこれまで取り組んでまいりました政策についての見解を板橋区に求めました。

皆様お一人おひとりのご意見ご要望を区政に反映し、初心を忘れることなく区政の更なる伸長発展に向けて様々な分野において日々精進してまいります。



質問大項目

○令和2年度の財政・政策について

○ふるさと納税について

○特別区競馬組合について

○災害対策基金について

○町会・自治会が設置する防犯カメラについて

○交通政策について

○おとしより相談センターについて

○スポーツ振興について

○地域センターの果たす役割について

○東京メトロ小竹向原1番出口へのエレベーター・エスカレーターの設置について



* 令和2年度の財政・政策

板橋区の財政状況は、地方法人課税の一部国税化、地方消費税の清算基準の見直し、ふるさと納税などの不合理な税制改正により板橋区をはじめとする23特別区の貴重な財源が奪われている状況。板橋区への影響に対する対応策と今後の取り組みについてさらに財源不足が板橋区の政策に与える影響についてなどの見解を求めました。

* ふるさと納税

板橋区が令和元年度実施した、ふるさと納税制度を活用した「クラウドファンディング事業」の実績と成果、今後の取り組みについてなど見解を求めました。

* 特別区競馬組合

区議会議長として2年間、23区の議長で構成される特別区競馬組合議会に所属。現在の大井競馬場はテーマパークのようで、昔の競馬場の雰囲気ではありません。現在、特別区競馬組合より特別区23区に分配金があり、令和2年度は、各区2億円の分配金が予算計上される予定。板橋区財政に多大な効果をもたらしているなど見解を求めました。

* 災害対策基金

板橋区は、平成30年度に基金計画目標額の18億円に到達したことを理由に、毎年の基金積立額を200万円以上と定めていた条例の改正を行なった。災害対策基金の額は現在の額で足りるとされる根拠、関連して大船渡市をはじめとする被災地支援で派遣された職員の皆様からの体験・報告が災害対策にどのように活かされているのかなど見解を求めました。

* 町会・自治会が設置する防犯カメラ

平成30年・31年度と特別区議長会より東京都に対し、町会・自治会が設置する防犯カメラの設置費・維持管理費の全額負担を求めてまいりました。区内防犯カメラの設置状況、手続きの煩雑さの解消、東京都の補助に対する予算の状況など見解を求めました。



* 交通政策

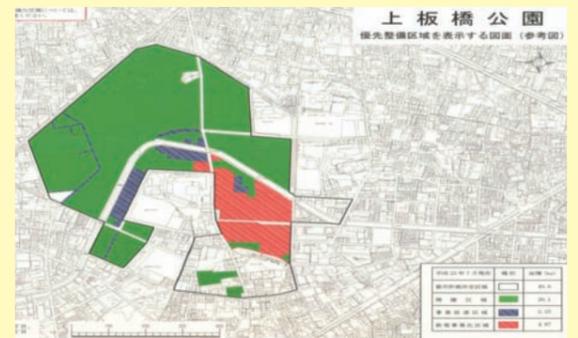
交通政策基本計画は板橋区の取組む様々な計画との整合・連携を図りながら交通政策全般に関する方向性を定めるものとされ重要な計画に位置付けられている。策定後の取り組みと方向性、桜川・大谷口・上板橋地域への新たな交通手段と今後の取り組みになど見解を求めました。

* おとしより相談センター（地域包括支援センター）

令和元年度より圏域が地域センター毎になり名称も変更となった。圏域ごとに課題・問題が発生している。センターの一番重要な業務の個別相談や訪問が出来なく、介護予防事業や虚弱高齢者や生活困窮者の早期発見による総合支援事業が出来ないセンターがあると聞いている。圏域の再度見直し、委託料の算定についてなど見解を求めました。

* スポーツ振興

板橋区スポーツ推進振興ビジョン2025の基本目標では、区民の誰もが親しめるスポーツ環境の整備・健康で「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに親しむことが出来る環境の整備、地元への愛着とにぎわいの創出、スポーツの持つ力によって地域を活性化し、区民の健康づくりを推進するとの目標が掲げられている。都立城北中央公園内に存在する陸上競技場の整備を東京都に求めていくことが、板橋区が掲げている基本目標に合致する施設となるのではと考える。現在板橋区が先頭になり取組まれている東京都建設局との協議の状況、令和元年9月15日に開催された都内初の「オリンピックデーラン」の効果、公園の在り方を検討する「パークミーティング」の今後の具体的な取り組み、公園周辺で発生している都立城北中央公園拡張工事による対象となる方々への引き続きの対応、石神井川調節池の上部利用、公園内のゾーニング、整備後の交通ルート確保などについての見解を求めました。

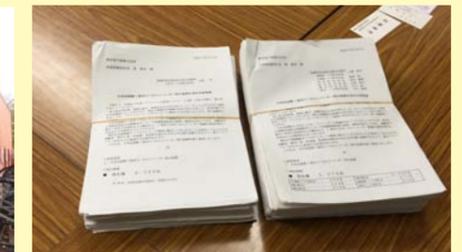


* 地域センターの果たす役割

地域センターは区役所本庁舎の分身であるのではと訴え、窓口業務をはじめとする各種業務を行なうのが望ましいと求めてまいりました。地域センターは、地域の方々と触れ合う機会の多い最も身近な存在。令和2年度から新たな地域センターとして新しい取り組みが行なわれる。平成17年に出張所が再編整備されてからの地域センターの果たしてきた役割と効果、新たな地域センターの役割と効果などについての見解を求めました。

* 東京メトロ小竹向原駅1番出口へのエレベーター・エスカレーターの設置

町会連合会大谷口・桜川支部より8,038件の署名をいただき、両支部代表の皆様が平成27年6月9日に東京地下鉄株式会社本社に伺い、設置についての要望が行なわれている。地域住民の皆様の長年にわたる要望、早期実現に向けての引き続きの対応について見解を求めました。



◆経歴	平成19年～現在	板橋区議会議員	平成23年度	東上線立体化調査特別委員会	委員長
昭和39年3月10日生まれ	◆役職			文教児童委員会	委員長
昭和45年 茂呂塾保育園卒園	大野商事株式会社	代表取締役	平成24年度	予算審査特別委員会	委員長
昭和51年 板橋区立上板橋第二小学校卒業	板橋消防団	団長	平成26年度	企画総務委員会	委員長
昭和54年 板橋区立上板橋第二中学校卒業	上板橋第二中学校	同窓会会長	"	議会運営委員会	委員長
昭和57年 東京都立豊島高等学校卒業	上板橋第二小学校	P T A顧問 等	平成27年度	自由民主党板橋区議会議員団	幹事長
昭和62年 日本体育大学体育学部体育学科卒業	◆区議会役職歴		"	平成29・30年度 板橋区議会 第50代議長	
昭和62年～平成7年 民間企業勤務	平成21年度		令和元年	区民環境委員会	副委員長
	安全安心まちづくり調査特別委員会	副委員長			